

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の状態判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（販売 企画担当）	単価の動き	・小麦粉、コーヒー、食用油等の値上げがあり、また、今月は生鮮食品などでも相場高がある。そのため1点平均単価や客単価が上がっている。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・今月は徐々に前年同月の稼働率実績を上回る見込みである。ずっと前年実績を下回る状況が続いていたが、今月より予約受注が好調にシフトしてきている。
	やや良く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・海外からも観光客が増えてきている。
		百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・沖縄の旧盆は前年より期間が前倒しとなっており、中元ギフトの食品部門が前年比130%の伸長となっている。衣料品においてもクリアランスと改装効果による前年比110%の伸長を維持しており、店舗合計でも前年比110%の伸長となっている。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・新規テナント参入の影響が大きいですが、売上高の前年比は3か月前に比べて10%ポイント上回り、景気は回復の兆しがみられる。また、来客数、客単価も回復し、消費マインドは徐々に上向きになっているとみている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・東日本大震災後は仕入れ商品の欠品が多かったが、スムーズに仕入れできるようになってきている。
		コンビニ（経営 者）	それ以外	・販売促進策が効果的に働き、また震災による品不足に対応していることで、売場が維持できている。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・宿泊人数は3か月前比で162.2%、前年比で106.1%である。3月11日の東日本大震災の影響を大きく受けた3か月前から完全回復しているが、客単価は15%ダウンで厳しい状況が続いている。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・販売量が前年を上回っており、特にスマートフォンの販売が好調で、一部の商品では品切れ状態が続いている。
	ゴルフ場（経営 者）	お客様の様子	・東日本大震災による影響の鎮静化に伴い、集客活動を行い、効果が出ている。	
	変わらない	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・前年は高校インターハイがあったが、来客数は前年比で0.5%減程度で推移している。しかし地域によって観光客数の差があり、安定しているとはいえない。たばこは前月と同じ程度の伸び率で、ドリンクやアイスが前年を超えており、その他の部門をカバーしている。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	販売量の動き	・夏休みに入り、売上そのものは3か月前より伸びているが、前年と比べると若干下回っている。
		通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・スマートフォンの新商品が発売され、来客数が多くなっている。
		住宅販売会社 （総務・企画分 野）	お客様の様子	・住宅展示場への来場は、前月からは大きく変化は無く推移している。受注については、競合他社と比較するなど、客は慎重に行動していると感じる。
やや悪く なっている	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・前半は例年よりも5%ほど入客が多く推移していたが、20日以降急激に平日の地元客が減っている。盆の準備でお金を使うため、例年盆の前は少し来客数が落ちるが、今年はその落ち方が大きい。	
悪く なっている	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・商品売上は前年比で大幅に落ち込みが続いている。夏のイベントに期待しているが、商店街イベントや広告等についても、協賛費用自体の落ち込みが大きく苦慮している。夏休みに入っても、人出は目抜き通り周辺にはあまり見当たらず、厳しい状況が続いている。	
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	－	－	－
		輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・地上デジタル放送開始により、一部限定商品の物量は大幅増である。住宅建設に関する資材輸送も前年を上回る物量となっている。また、外食チェーンの新規店舗展開などもあり、観光関連を除けば景気が良くなっている感はある。
	輸送業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・3月11日の東日本大震災以来落ち込んだ感があったが、大手電力会社の放射能問題が明らかになりだし、また電力不安や食肉牛の放射能汚染問題等で本土からの避難者の増加に伴い、生コンクリート等の流入が増えたようにみられる。	

	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・契約単価は安価であるが、仕事は増えてきている。	
変わらない	○	○	○	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は減少、民間は個人住宅及び小規模賃貸住宅建築はあるものの、大型工事が無い。全体的に減少している。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅及びリフォーム工事の契約件数が減少している。	
	コピーサービス業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が下がっていくなか、用紙、インク等の印刷関連等コストが10～20%値上がりし、利益率が落ちていく。客に対する値上げ要求はなかなか厳しい。	
悪くなっている	—	—	—	
雇用 関連	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・受注案件の全体の合計件数が、東日本大震災前のピーク時並みに回復してきている。
		求人情報誌制作会社（営業担当）	求人数の動き	・3か月前に比べて求人かける企業数が増えており、その分雇用も増えている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前月に比べ求人数が増えている。特に本土企業の沖縄進出が目立ち、地元から採用を、との声がある。一方、県内企業に関しては、若干動きがみられるが、募集人数が少なく、事業展開や時期を考慮して後日2次募集するなど採用の分散化がみられる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼が増加しているが、単発的なものが多い。また地上デジタル放送化対応の大口派遣依頼もあるが、あくまで期間限定で、継続的なものではない。
		求人情報誌制作会社（総務担当）	求人数の動き	・東日本大震災の影響が心配されたが、4か月経過した今現在は、特に求人数に変化はなく、序々に県外募集が増えてきている。
やや悪くなっている	—	—	—	
悪くなっている	—	—	—	